

平成24年度歴史的風致維持向上推進等調査 報告会

日時：平成25年2月18日(月)

10:00~15:30

会場：中央合同庁舎2号館地下2階 講堂
(東京都千代田区霞が関2-1-2)

主催：国土交通省都市局公園緑地・景観課

良好な景観や歴史的まち並みの形成における課題の解決に向け、全国の15地域で実施した調査について、実施状況・結果の報告会を開催します。

～プログラム～

9:30~10:00 受付

10:00~10:10 開会

10:10~11:40 第1部

- ・「地域で循環する歴史的建造物の修理システムの構築」 NPO法人しらかわ建築サポートセンター（福島県白河市）
- ・「地域文化財専門技術者の育成手法検討調査」 社団法人茨城県建築士会（茨城県）
- ・「歴史まちづくりのネットワークの構築」 公益社団法人静岡県建築士会（静岡県）
- ・「課外授業による歴史まちづくり担い手育成手法検討調査」 龍野地区まちづくり協議会（兵庫県たつの市）
- ・「歴史的建造物の被災調査・復旧支援のしくみづくり」 社団法人熊本県建築士会（熊本県）

12:20~13:50 第2部

- ・「民間資金導入による町家流通スキーム調査研究」 金沢市（石川県金沢市）
- ・「持続可能な景観まちづくりファンド検討調査」 藤川地区景観まちづくりファンド推進協議体（愛知県岡崎市）
- ・「町家の活用・継承事業検討調査」 京都市（京都府京都市）
- ・「信託受益権小口化による歴史的建造物の維持管理システム検討調査」
貝塚寺内町と紀州街道のまちづくり協議会（大阪府貝塚市）
- ・「期間限定サブリースによる町家利活用促進調査」 大和・町家バンクネットワーク協議会（奈良県橿原市）

13:50~15:20 第3部

- ・「歴史的建造物の住宅利用促進検討調査」 NPO法人歴史文化研究所（北海道小樽市）
- ・「地域ぐるみでの歴史的水路(雄川堰)の保存・活用手法に関する調査」 甘楽町（群馬県甘楽町）
- ・「地域による歴史的建造物の管理・運営手法に関する検討調査」 小田原市（神奈川県小田原市）
- ・「美しい“里の景観”の持続的保全に向けた“里ビジネス”成立可能性調査」
高島市美しい里の景観保全・活用協議会（滋賀県高島市）
- ・「加世田麓と中心市街地を活かすまちづくり」南さつま市（鹿児島県南さつま市）

15:20~15:30 閉会

報告会はどなたでもご参加いただけます。参加希望の方は下記の電話またはFAXで、所属団体、氏名、連絡先(携帯可)を1月28日(月)までにご連絡下さい。

◇お問い合わせ

国土交通省都市局公園緑地・景観課景観・歴史文化環境整備室

TEL 03-5253-8954

FAX 03-5253-1593



第1部（10：10～11：40）調査概要

「地域で循環する歴史的建造物の修理システムの構築」 NPO法人しらかわ建築サポートセンター（福島県白河市）

白河市歴史的風致維持向上計画重点区域は城下町の歴史的街並みがよく残る地区である。しかし、東日本大震災において土蔵、蔵造りの歴史的建造物が数多く被災し、その復旧に向けて、材料調達や職人確保などの課題が発生している。これらの課題を解決することは、平常時の歴史的街並みの維持管理システムを構築することにつながる。そこで、歴史的風致維持向上支援法人であるNPO法人しらかわ建築サポートセンターが中心となり、近隣農家との提携等による材料調達、広域連携した職人育成、伝統工法の良さを取り入れ現代工法と組み合わせた代替工法の開発などについて取り組んでいる。



「地域文化財専門技術者の育成手法検討調査」 社団法人茨城県建築士会（茨城県）



東日本大震災で被災をした茨城県において始まった「地域文化財専門技術者育成研修（ヘリテージマネージャー養成講座）」の特徴として、被災現場で行なわれた実習内容をDVD教材ビデオにまとめ、本県並びに被災時の他県の参考となるべき資料の作成に取り組んでいる。また、被災した県内の歴史的建造物、特に常陸太田市鯨ヶ丘地区と桜川市真壁地区のその後の展開の違い、ともに重要伝統的建造物群保存地区である桜川市真壁地区と隣接県である千葉県佐原市における改修方法の違い等を比較分析し、技術の伝承を図る機会の検討を行う。

「歴史まちづくりのネットワークの構築」 公益社団法人静岡県建築士会（静岡県）

歴史的建造物の所有者・管理者である住民、建築士等の専門家、大工、左官、建具等の職人、行政等による歴史まちづくりのネットワークを構築し、平常時においては歴史的建造物の保全・活用、修繕・改修などの相談を住民や市町行政から受け、災害発生時等の非常時においては被災した建造物の危険度調査、応急修理、修復等に関する助言等を行う「静岡県ヘリテージセンターSHEC」の設立・運営に関し検討を行う。また、平常時・非常時における対応マニュアルを作成する。



「課外授業による歴史まちづくり担い手育成手法検討調査」 龍野地区まちづくり協議会（兵庫県たつの市）



たつの市をモデル地域として、地元高校生が歴史的建造物への愛着とその保存等の取り組みを職業として興味を持てる課外授業を実施するとともに、課外授業で歴史的建造物に興味を持った高校生や卒業生のさらなる育成と地域の意識向上に向け、地域の歴史的建造物の改修等に高校生や地域住民が関わる体制づくりの検討を行うことで、次世代の歴史まちづくりの担い手を育成する。課外授業の実施により、興味を持った高校生や卒業生達の継続的な育成が可能となるように、地域住民の協力のもと高校生達が技術を習得し、歴史的建造物のメンテナンス等に関わっていただけるような地域の体制づくりを行う。

「歴史的建造物の被災調査・復旧支援のしくみづくり」 社団法人熊本県建築士会（熊本県）

地震等の広域災害により被災した多くの歴史的建造物が、被災調査・復旧のための支援体制の不備により失われている。本調査は災害時における歴史的建造物の被災調査・復旧支援体制について東日本大震災等の被災調査の分析による検討を行うとともに、リスト化やマップ作成による歴史的建造物の把握、災害時対応方法のマニュアル化、支援できる人材の育成と配備、地域内支援組織間の連携及び広域的な建築士会や行政等との相互支援協定等による連携の検討等の支援体制構築に必要な取り組みを九州地域でモデルとして実施する。その取り組み結果を踏まえた支援体制構築に関する指針を提示する等、今後わが国の各地域で行われる歴史的建造物の被災調査・復旧支援体制構築の円滑な取り組みを促進するための手懸かりとなることを目的として行うものである。

第2部（12：20～13：50）調査概要

「民間資金導入による町家流通スキーム調査研究」金沢市（石川県金沢市）

歴史的風致を形成する重要な構成要素である「町家」は、全国各都市において滅失の進行が見られるが、そうした滅失に歯止めをかけるためには、売買・賃貸等による町家の流通促進が有効であると考え。本調査は、町家流通スキームにおける資金調達や事業内容、運営手法等に関する具体的な検討や、町家の現地調査によるスキームの運営・実施に必要な情報を整理する手法を検討することにより、民間と行政が協働する町家流通スキームの現実的な枠組みを提案し、全国の町家流通に関する取組の支援・促進に寄与することを目的とするものである。



「持続可能な景観まちづくりファンド検討調査」藤川地区景観まちづくりファンド推進協議体（愛知県岡崎市）



景観形成や地域活性化に資する町家等の歴史的建造物を修理・活用するための小規模ファンドの創設や継続的な資金確保の仕組みについて検討を行う。資金を主に地縁より調達する小規模ファンドのあり方について、旧東海道の宿場町であった藤川地区をモデルに、先進的なファンドの事例調査、歴史的建造物の活用方法及び多様な資金確保の手法等について地域住民・企業等への意識調査を行うとともに、歴史的建造物の修理費用や活用収益を試算し、それらの結果を基に、今後の民間資金の導入による持続可能な小規模ファンド創設の手順や運営手法等の実施方針を示す。

「町家の活用・継承事業検討調査」京都市（京都府京都市）

歴史的な建造物、特に地域の伝統的な建築様式と生活文化を今に伝える町家は、都市の活力や魅力を高めるうえでは、大変重要なものであることから、町家を単に保存するのではなく、再生しながら活用することが必要であると考え、民間活力の導入により、一般市場での流通が適切に行われることを目指し、不動産管理信託事業を実施するに当たっての課題整理や事業採算性の評価方法について検討するとともに、管理型信託会社の設立に向けた取組についても検討を行う。また、町家を適切に管理することができる者へと継承することも必要であると考え、継承における課題、特に相続に関する問題点を整理するとともに、町家を寄付する場合における受入機関について整理し、適切な管理者へと継承する手法について検討を行う。

「信託受益権小口化による歴史的建造物の維持管理システム検討調査」

貝塚寺内町と紀州街道のまちづくり協議会（大阪府貝塚市）

町家の所有者は、相続による財産の分割や経済的な事情などによって町家を維持管理し続けることが困難になっており、空き家になって放置され、あるいは解体される町家などの歴史的建築物は後をたたない。このような町家を活用するに当たっては、個人に依存してきた歴史的建造物の維持管理を地域が担う取組として促進するため、安定した担い手による町家等の保有と維持管理の手法を構築することが課題となっている。本調査は、この課題を信託による安定的な保有と信託受益権の小口化による資金調達によって達成するための維持管理システム等の検討を行なうものである。



「期間限定サブリースによる町家利活用促進調査」大和・町家バンクネットワーク協議会（奈良県橿原市）



奈良県内では現在、歴史的まち並み地域において空き町家が増加している。まちの活力となる町家利活用を促進するために、今回の調査では、期間限定（約1ヶ月）で空き町家を所有者から借り受け、それを利活用したいユーザーに又貸し（サブリース）することにより、新たな町家利活用の可能性を発掘・発信するとともに、所有者の町家利活用に対する意識の醸成を図る。また、本格的なサブリース事業の実施に向けた手法の検討を行うなど、空き町家の利活用推進体制の構築を目指す。

第3部（13：50～15：20）調査概要

「歴史的建造物の住宅利用促進検討調査」 NPO法人歴史文化研究所（北海道小樽市）

歴史的建造物が老朽化等から、消失もしくは空家になるといった歴史的まち並み視点からの問題が全国各地で発生している。歴史的まち並み保全には、それが継続的に管理されるように、民間資金活用により住宅等への利用の促進を図ることが必要である。本調査は、小樽地域を対象とした現地調査から、その住宅利用にあたっての課題の整理・対応策の検討を行い、活用されていない歴史的建造物と新たな居住者とをマッチングするまでの一連の取組の指針を示すことによって、歴史的建造物の住宅への利用の促進を図る事を目的とする。



「地域ぐるみでの歴史的水路(雄川堰)の保存・活用手法に関する調査」 甘楽町（群馬県甘楽町）



町の中心である小幡地区内を網の目のように流れている雄川堰は、現存する水路ネットワークや石積みなど、昔からの形態が良好に残されている。しかし一部の区間はコンクリート側溝に置き換わり、また民地内の区間では、現状で管理されていないケースもある。そこで本調査では、雄川堰の水路形状や流量、保存状態等に関する悉皆調査を実施するとともに、地域住民と有識者によるワークショップを開催し、雄川堰の保存・活用に向けての方策を検討する。さらに石積みの検証的補修を行い、雄川堰の歴史的価値や石積み補修の方法・手順等を紹介するガイドブックを作成する。

「地域による歴史的建造物の管理・運営手法に関する検討調査」 小田原市（神奈川県小田原市）

小田原市板橋内野邸(個人所有)は「歴史的風致形成建造物」指定候補とされているが、現在空家となり解体の危機に瀕している。本調査は、内野邸をモデルとした、民有の歴史的建造物を地域組織の主体で保全し活用する方式の確立に向けた実験的取組みであり、行政の賃貸によりこれに一時的に公的性格を付与した上で、地域組織によるその持続的な管理・運営等に必要な要件やこれを進めるための方策、行政と地域組織等との役割分担のあり方等について検討する。



「美しい“里の景観”の持続的保全に向けた“里ビジネス”成立可能性調査」

高島市美しい里の景観保全・活用協議会(滋賀県高島市)

集落景観の阻害要因となっている空き家の発生防止・活用促進の仕組みとして「空き家見守り事業」を想定し、その構築に向けた調査を実施する。具体的には、古民家等、歴史的建造物を多数含む7集落をモデル地域とし、現地踏査により集落景観と空き家との関係を把握するとともに、「空き家見守り事業」に対する住民及び空き家所有者の意向調査を通じた事業成立性を検討する。また、里山・河川景観の阻害要因となっている樹木の活用を図り、整備・管理を推進する仕組みを構築するための調査を実施する。具体的には、「景観阻害木のエネルギー活用事業」を想定し、里山・河川の管理で発生する残渣量調査、薪利用に対するニーズ調査、景観阻害木の薪利用の可能性を把握する実証調査を実施して、事業の成立性を検討する。

「加世田麓と中心市街地を活かすまちづくり」 南さつま市（鹿児島県南さつま市）



南さつま市加世田は薩摩半島南西部に位置し、近世は薩摩藩の大郷のひとつとして、近代は鉄道や街道の拠点として栄えた。麓とは、近世に城の護衛のため周辺に武士を住ませた地域である。現在でも、加世田麓には近世末期以降の歴史的建造物が残っており、隣接する中心市街地本町には明治期以降に栄えたことを示す文化遺産が点在している。本調査により、良好な景観が残る加世田麓の歴史的風致の維持向上と観光資源として歴史的建造物等の活用に取り組み、加世田麓と賑わいの場である中心市街地を人々が行き交うシステムづくりを行い、活力あるまちづくりを促進する。